

常任委員会の審議から

総務企画委員会

開港のメリットを積極的に宣伝すべき 分かりやすいPRに努めたい

問 茨城空港から韓国を経由して世界に行くことができ、時間短縮も経費節約もできるというようなメリットをもっと対外的に宣伝すべきでは。

答 発着時間などを早く公表してもらえよう。アジア航空に働きかけているところである(※)。茨城空港を利用した場合の目的地までの時間や料金についてももっと分かりやすくPRしていきたい。

問 不適正経理処理は極めて遺憾であり、二度とあつてはならない。再発防止策は。

答 不適正経理処理は重大なことで受け止めており、今後は一層厳正な監査を実施していく。今後は予算の運用のあり方を検討し、二度と起こらないようにしていきたい。

(ほかに、国の補正予算見直しによる本県財政への影響や八ッ場ダム・湯西川ダム・霞ヶ浦導水事業見直しの影響なども質問)



環境商工委員会

JCOの臨界事故の教訓を風化させないための対応は 事故後の安全対策を検証する機会などを設けたい

問 JCOの臨界事故から十年NHKの世論調査で70%近くが原子力事故に対して不安を感じると回答したことを踏まえ、今後、事故の教訓を風化させないため、どのような対応をしていくのか。

答 安全対策を考えるシンポジウムや原子力総合防災訓練を実施している。事故を振り返る機会、事故後の安全対策を検証する機会を設けたい。また、臨界事故を起こした沈殿槽の模型を研修で活用するなど、事故の教訓を風化させない取り組みを進めていきたい。

問 更新する防災ヘリコプターは、救急業務の対応や夜



間の飛行ができるのか。

答 転院搬送などの救急業務に活用できる。つくばヘリポートなどの離発着場の照明が夜間飛行に適しておらず、現段階での実施は考えていない。

(ほかに、台風十八号による被災対策、地球温暖化対策なども質問)

保健福祉委員会

新型インフルエンザワクチンの接種開始は 十月十九日から接種開始

問 新型インフルワクチン接種は予定どおり始められるのか。また、季節性インフルワクチンとの同時接種は可能か。

答 予定どおり十月十九日から医療従事者への接種を開始し、順次優先者から接種可能となる。また、季節性インフルワクチン接種との間隔は一週間以上あけるのが基本だが、状況により同時接種も可能。

問 県立病院改革のこれまでの成果と今後の取り組み方針について伺う。

答 問題点を分析し、赤字経営の体質改善と政策医療への取り組みを行った。今後も診療体制の充実や、筑波大学との連携による人材育成などにより、本県の政策医療に取り組みたい。

(ほかに、八ッ場ダムの建設が中止になった場合の本県への影響、児童被害者への支援の見直しなども質問)



農林水産委員会

子ども農山漁村交流プロジェクトとは 小学生を対象とした農山漁村での長期宿泊体験を行う事業

問 子ども農山漁村交流プロジェクト事業内容と事業に取り組むJA系統への支援は。

答 関係する農林水産省、文部科学省、総務省が連携し、小学生が農山漁村で長期宿泊体験を行う事業である。本県ではグリーンふるさと振興機構で取り組み、二十年度は城里町の七つの小学校、百五十三名を受け入れた。JA系統からの要請があれば積極的に助言する。

問 あなたのそばのミルクスタンド事業とは。

答 酪農関係者で水戸駅構内にミルクスタンドを設置し、県内産の牛乳を提供するとともに、県内酪農の情報発信基地として活用し、牛乳・乳製品の消費拡大と酪農への理解醸成を図る予定である。

(ほかに、減農薬栽培や温暖化に対応した試験研究、霞ヶ浦の水生植物帯造成事業なども質問)



子どもたちが農山漁村で長期宿泊体験を行う事業

土木委員会

県有施設の耐震化に向けた取り組みは 耐震診断を実施し、必要な耐震補強を進める

問 県有施設のこれまでの耐震診断の結果と今後の取り組みについて伺う。

答 昨年度までに実施した百六十三件の診断結果は、耐震補強が必要な建物は八十六件であった。今年度は、百六件の診断を進めるとともに、耐震補強が必要な十八件の補強工事を予定している。

問 地方分権改革推進委員会の第三次勧告には、生活道路の歩道幅二メートル以上の基準を、県が条例化することで見直すことができるといった内容が含まれている。今後はこの勧告の方向で進んでいくと思う。条例化を進めては。

答 現状は、特例的に二メ



文教治安委員会

学力向上のため調査結果の公表を 全市町村による公表を期待

問 茨城県は、全国学力・学習状況調査で知識的な分野、基礎基本に課題がある。調査結果の公表により、節度ある競争をしないと、学力向上は困難と考えるが、所見を伺う。

答 基礎学力の課題は、繰り返し学習の不足にある。家庭での復習などを習慣づけることが大事であり、全市町村が調査結果をきちんと住民、保護者に公表していただきたい。

問 運転違反別死者数の三割は操作ミスなどルール・マナーの低さ、免許点数では見えない部分による。マナーに欠ける運転者を集約的に取締る方法も必要ではないか。

答 インターネット意見公募で、



ルール・マナーの浸透方策や運転リーダー育成の必要性の提言をいただいた。悪質違反の取締りも重点的に行う。

(ほかに、信号機LED化の推進、特別支援学校への医療的ケア支援員配置なども質問)

※10月26日に、アジアナ航空は茨城一ソウル便の運航スケジュールを発表しました。(茨城発は午後1時)